

## 2019年度

## 授業概要

科目名	作業療法総合演習 I					授業の種類	演習	必修・選択		必修
授業回数	15	回	時間数	30	時間	1	単位	配当学年時期	1年	前期
【授業の目的・ねらい】										
将来の国家試験に必要な知識の修得に向けて、その前段階として、人間の構造と機能において最低限の知識と学修の規範を作る。										
【実務者経験】										
【授業全体の内容の概要】										
講義及びグループでの演習を通じて必要最低限の解剖生理を繰り返す。										
【授業終了時の達成課題（到達目標）】										
人間の構造と機能を他者に説明し、学習意欲を高めることが出来る。										
講義回数	章	講義内容	章	講義内容	章	講義内容				
1	1	超高性能な人間の脳	1	消化管は体の外とつながっている	1	全身に骨はいくつある				
2	2	脳の大きさと知能の関係	2	食事をし、発音し、表情をつくる口	2	骨のつながりかたで関節の動きが決まる				
3	4	左右の半球にわかれている脳	3	逆立ちしても食べ物はちゃんと胃に入る	3	関節を補強・保護する靭帯や関節包				
4	5	人間の本質は脳のどこにある	4	食べたものによって腹持ちは違う	4	頭蓋骨と、S字構造の脊椎				
5	6	脳の中には天然の麻薬がある	6	胃から流れてくる酸も中和できる	5	心臓や肺を守るカゴ状の胸郭				
6	8	脳幹と大脳辺縁系の役割	11	体内で最大の臓器は沈黙の臓器	7	多くの骨があるから細かい動作ができる				
7	9	脳はブドウ糖と酸素がないと働かない	13	咽頭と喉頭にわかれる”のど”	8	大人になっても生きている骨				
8	10	人はなぜ眠くなり、眠るのか	15	空気の通り道となる気管・気管支と肺	9	全身には約600個の筋肉がある				
9	11	小の働きと運動神経	16	肺にはガス交換をする肺胞がぎっしり	10	全身の骨格筋の全貌				
10	12	髄膜	17	呼吸に関わる筋肉とその働き	14	骨盤の向きが悪いと腰痛の原因にも				
11	13	末梢神経	18	疲れ知らずの収縮力を持つ心臓	16	筋肉と骨をつなぐ腱				
12	14	脊髄反射	20	心臓を起点にまわる2つの循環ルート	17	皮下脂肪と内臓脂肪				
13	15	情報伝達の往路と復路	22	静脈は心臓への復路	18	皮膚は全身のバリアー				
14	16	自律神経	24	リンパ系は復路だけの循環系						
15	まとめ									
定期筆記試験										
【 使用教科書・教材・参考書 】										
基礎固めヒント式トレーニング基礎医学編（ヒントレ研究所編）南江堂 よくわかる最新からだの基本としくみ（鈴木洋通監修）秀和システム 解剖学イラスト事典第二版（松村譲兜）中外医学社										
【 準備学習・時間外学習 】										
時間内で資料から読み解く力を養うが、試験対策にもなる復習用資料を配布するので、それに学んだところの絵や図とその説明文を記載しておくこと。										
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】										
試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし、 60点以上の場合に科目を認定する。										